

「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座。2021年11月(第23回)は「フレンチ・ミュゼット音楽と印象派絵画」です。アコーディオン演奏家オランさん、ギター演奏家江森孝之さんによる演奏とアーティゾン美術館学芸員賀川恭子さんによる印象派絵画解説をお送りします。

< 2021年11月(第23回) >

フレンチ・ミュゼット音楽と印象派絵画

19世紀後半、パリ下町の酒場やレストランではパリっ子の生活から生まれた「ミュゼット」というアコーディオンを中心としたダンス音楽が盛んに演奏されていました。一方、同時代のパリではルノワールなど印象派画家たちがその光景を描いています。

パリ下町情緒あふれる「フレンチ・ミュゼット」の調べと印象派絵画解説で、19世紀後半のパリにタイムトリップして頂きます。

日 時： 2021年11月17日(水) 18:30～20:00

会 場： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参加料： 無料

申込方法： Peatix (<https://peatix.com/event/3048729>)
右上のリンクボタン(またはQRコード)よりお申し込みください。

▶ お申し込み(Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合がございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講師 >



オラン 氏
(アコーディオン演奏家/
シンガーソングライター)

フレンチ・ミュゼットが琴線に触れ聴音独学後、江森登氏に師事しアコーディオン演奏家となる。江森孝之氏率いる『パナシェ』にメンバーとして参加。またシンガーソングライターとして、子供から年配者までに親しまれる幅広い音楽性のオリジナル曲を多数作詞作曲し『スケッチブック』『カンパス』等7枚のCDリリース、アコーディオン弾き語りライブを25年続けている。



江森孝之 氏
(ギター演奏家)

潮先郁男氏にジャズギターを師事。パークリー音楽院卒業。様々なアーティストのサポート、レコーディング、劇団四季や東宝のミュージカルなど幅広いフィールドで演奏している。主宰するバンド『パナシェ』は20年以上活動している。今年ニューアルバム『風はローズマリー』をリリース。オラン氏との活動も長く、多数のアルバムに参加している。タンゴバンド「ラストタンゴ」のメンバーとして2枚のアルバムに参加、2枚目はブエノスアイレスで録音。



賀川恭子 氏
(アーティゾン美術館学芸員)

専門は19世紀フランス美術史。山梨県立美術館学芸員を経て、2011年よりプリチストン美術館(現アーティゾン美術館)学芸員。企画・担当した主な展覧会に「ジャム・セッション 鴻池朋子」(2020年)、「琳派と印象派」(2020年)、「特集コーナー 展示 マリノ・マリーニの彫刻と版画」(2021年)。著書に『ルノワール』(角川文庫)ほか。